

海外安全対策情報（令和8年1月～3月）

1 治安統計

MANAUS		2026年		
NATUREZAS(犯罪行為)	1月	2月	3月	合計
HOMICÍDIO(殺人)	28	27	21	76
ROUBO(強盗)	1,105	949	1,020	3,074
FURTO(窃盗)	2,186	2,266	2,406	6,858
TENTATIVA DE HOMICÍDIO(殺人未遂)	20	5	5	30
ESTUPRO(強制性交)	29	26	28	83
合計	3,368	3,273	3,480	10,121

MANAUS		2025年		
NATUREZAS(犯罪行為)	1月	2月	3月	合計
HOMICÍDIO(殺人)	36	26	32	94
ROUBO(強盗)	2,037	2,064	2,140	6,241
FURTO(窃盗)	2,752	2,901	2,954	8,607
TENTATIVA DE HOMICÍDIO(殺人未遂)	15	26	24	65
ESTUPRO(強制性交)	16	14	15	45
合計	4,856	5,031	5,165	15,052

マナウス市における2026年1月～3月の主要な犯罪認知件数合計は、10,121件となり、前年同期（15,052件）と比較して約32.8%減少しました。

内訳を見ると、殺人、強盗、窃盗及び殺人未遂はいずれも前年同期比で減少している一方、強制性交については増加が認められます。全体として犯罪発生件数は減少傾向にあるものの、特定犯罪累計については引き続き注意が必要です。

また、以下4のとおり、マナウス市内においては、邦人が訪問する機会のある施設周辺や、比較的安全と認識されている地区においても強盗事案が確認されています。

以上を踏まえ、従来安全と認識されていた場所を含め、外出時には周囲の安全状況に十分留意する必要があります。

2 トピックス

◎「安全の手引き」を令和7年1月に改訂いたしました。

<https://www.manaus.br.emb-japan.go.jp/files/100613496.pdf>

3 邦人の被害事案

該当事案なし。

4 邦人以外の被害事案例

(1) 1月18日夕刻(具体時刻未詳)、マナウス市北部シダージ・ジ・デウス地区に所在する自然博物館ムーザ(MUSA)において、観光客を目的とした武装強盗事件が発生しました。現地報道によれば、武器を所持した複数人の犯人が、展望台見学後に敷地内を移動していた観光客グループに接近し、武器で脅迫したうえで、被害者を敷地内トイレに連行・拘束し、携帯電話、現金等の所持品を強奪し逃走しました。

<https://www.cm7brasil.com/noticias/policia/turistas-sao-amarrados-e-vivem-momentos-de-terror-em-assalto-durante-passeio-no-musa/>

(2) 2月26日17時30分頃、マナウス市アドリアノポリス地区の私立大学駐車場において、女子学生らが強盗被害に遭う事件が発生しました。

報道によれば、オートバイ2台に分乗した複数の男らが駐車場内に侵入し、現場にいた複数の女子大生に接近、携帯電話等の所持品を強奪し、そのまま逃走したとのこと。

犯人らはヘルメットを着用しており、詳細な特徴は明らかになっておりません。負傷者の有無については報道で確認されていません。現在、警察当局が捜査を行っていると報じられています。

<https://www.cm7brasil.com/noticias/policia/alunas-sao-assaltadas-no-estacionamento-de-faculdade-em-manaus-veja-video/>

5 テロ・爆弾事件発生状況

該当事案なし。

6 誘拐・脅迫事件発生状況

該当事案なし。

7 日本企業の安全に関わる諸問題

該当事案なし。

以上